



インターネットでの情報提供

提供開始日 8月28日

平成19年8月27日(月)県政記者クラブ配布資料		
担当課	担当者	電話
労働雇用課	課長 真野	内線 3120
人材チャレンジセンター	センター長 土本	058-278-1149

『ムダ取りインターンシップ』の開催について【取材依頼】 ～ 県内ものづくり企業でトヨタ生産方式「カイゼン」を実習～



若者の就職支援を進める県の人材チャレンジセンター（愛称「ジンチャレ！」）では、製造業の魅力を若者に発信し、県内中小企業の人材確保を支援する事業を展開しています。

その一環として、若者が県内のものづくり企業で改善実習を行い、トヨタ生産方式を体感するとともに、受入企業は、新しい視点から「現場の改善提案」を受けることができる「ムダ取りインターンシップ」を開催します。

その特徴は...

トヨタ生産方式「カイゼン」を学ぶ実践的なインターンシップ（5泊7日）

工場再生請負人の異名を持つ「PEC産業教育センター」（山田日登志所長 / 岐阜市須賀）が若者を指導企業の改善トレーナーなどの社会人（10名程度）と学生（20名）が、寝食を共にして実習・交流
「岐阜県内中小企業に対する企業支援協力に関する協定書」に基づき（株）大垣共立銀行の協力を得て受入企業を選定

【日程】 (前期) 8月29日(水)～9月1日(土) (後期) 9月12日(水)～14日(金)
詳細は、別紙のとおり。

【内容】 Step 1 : 学生はPEC産業教育センターで、モラル訓練(挨拶や大声を出す訓練)とトヨタ生産方式の座学を行う。
Step 2 : 学生(20名)は、改善トレーナーなど社会人(10名程度)とともに受入企業で改善実習を行う
Step 3 : 工場の生産工程を観察し、ムダを発見し、その場で生産ラインや機械・原材料・在庫の位置を変えるなどの改善を実践する。

【参加者】 トヨタ生産方式に興味がある若者！または将来、生産現場で活躍しようとする若者！ 20名



モラル訓練



現場実習



改善成果の取りまとめ

【参加者の声】

モラル訓練で思いっきり声を出すことで気持ちが引き締まり、日頃は受け身な私も、この改善塾では常に積極的に意見を言い、また行動に移せました。
現場実習を重ねる内に、本気で改善したいという気持ちが芽生えてきました。実際、工場の生産ラインの問題点を洗い出し、改善できたときは快感でした。
改善塾を体験した先輩からの体験談や物づくりの生産現場を体験したいという気持ちから応募しましたが、学校では学べないものがこの改善塾にはたくさんありました。

【問い合わせ】 財団法人岐阜県産業経済振興センター / 岐阜県人材チャレンジセンター
フリーダイヤル : 0120 - 89 - 1149

県人材チャレンジセンターは、主に若者の就職を支援するため、岐阜県が設置した就労支援センターです。

URL <http://www.jincha.jp>